

TOSHIBA

東芝電気温水器(家庭用) 取扱説明書

ステンレスホット
セレクトシリーズ

形
名

マイコン節電タイプ(屋内・防雨兼用形)


HPL-TL375RM・HPL-TL375RM-B
HPL-TL465RM・HPL-TL465RM-B

マイコン節電タイプ(屋内・防雨兼用形)

HPL-TL469RM・HPL-TL469RM-B

マイコン節電タイプ(屋内・防雨兼用形)

HPL-TL569RM・HPL-TL569RM-B

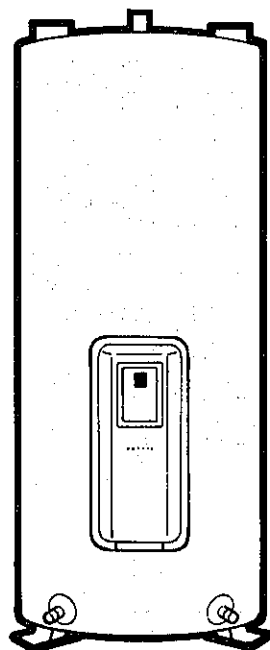
- ※ 一戸は  (BL) 認定品です。
- ※ 使用前にお買いあげいただきました温水器の形名をおたしかめください。

- * このたびは東芝電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- * この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- * お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- * 工事説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- * 保証書を必ずお受け取りください。
- * お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

割引料金の適用について

この電気温水器は、通電制御による特別割引料金の適用を受けられます。

適用に当っては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、適用機種にはそれぞれ、右記のシールが貼り付けてあります。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	5
使いかた	6
点検、お手入れのしかた	9
リモコンについて	12
このようなときには	13
仕 様	14
保証とアフターサービス	15





通電制御型

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明




表示	表示の意味
 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	○は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付前の注意事項

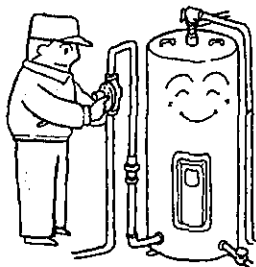
警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買いあげの販売店または工事に依頼すること

ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。



専門業者

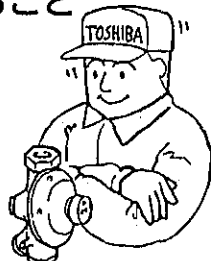


減圧弁・逃し弁・絶縁パイプなど、別売り部品も東芝品を使用すること

純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。



純正部品

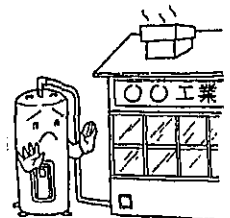


警告

業務用・改造後の使用はしないこと
事故・故障の原因となります。



禁止



注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用すること

適合しないと故障・水漏れの原因になります。



上水道



■据付後の確認事項

⚠警告

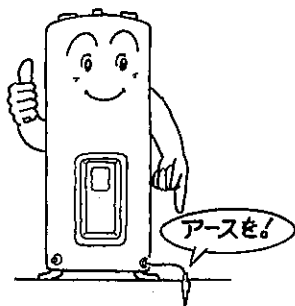
アース工事がされているか確認すること

故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースの取り付けは販売店にご相談ください。



アース工事

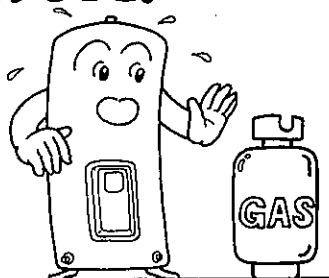


温水器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認すること。

発火の原因になります。



施工確認



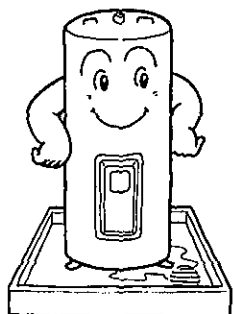
⚠注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること

水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。



施工確認

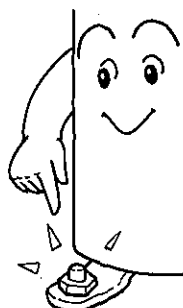


脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

本体が倒れてけがをすることがあります。



施工確認



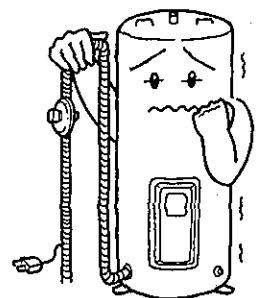
⚠注意

凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。



施工確認

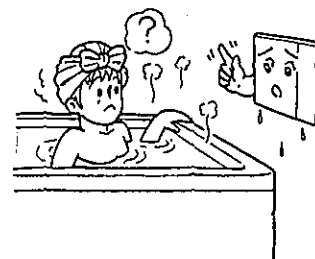


温水器・リモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認すること

火災・感電の原因になります。



施工確認

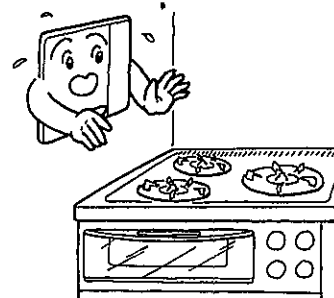


リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取付けられていないことを確認すること

変色、変形、火災の原因になります。



施工確認



■使用上の注意事項

⚠警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。



禁止

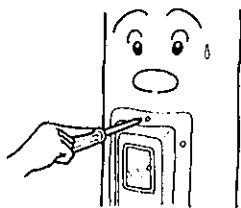


安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

前面カバーは開けないこと

感電の原因になります。



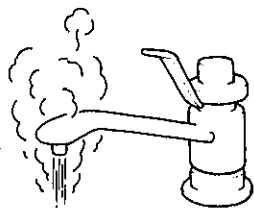
禁止

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。



手をふれない



給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。



手をふれない



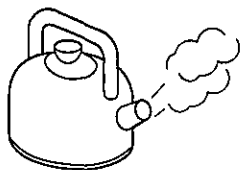
⚠ 注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

・必ず水質基準に適合した水を使用してください。

・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。



沸騰後飲用

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

⚠ 注意

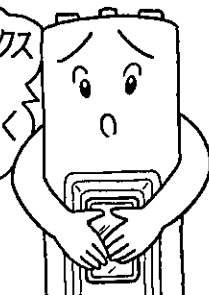
電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

電源ボックス
カバー
閉じておく



電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えないこと

本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。



禁止



■点検・お手入れの注意事項

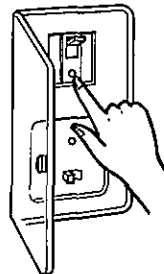
⚠ 警告

漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。



動作点検

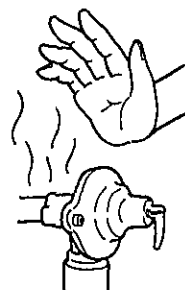


逃し弁の点検時には逃し弁、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。



手をふれない



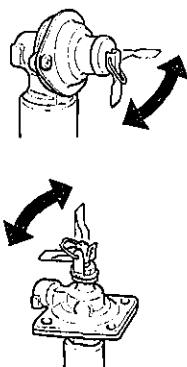
⚠️ 注意

逃し弁を点検すること

配管漏れによりやけどをすることがあります。高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。



動作点検

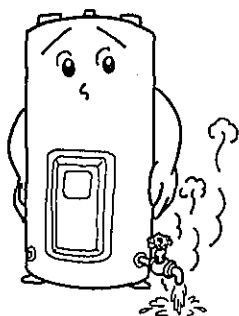


タンクの熱湯排水は直接しないこと

やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。



熱湯排水禁止

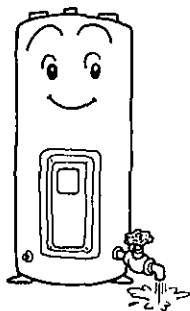


1か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。



水抜き



水漏れを点検すること

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常確認してください。



漏水点検



■ 修理・譲渡等の注意

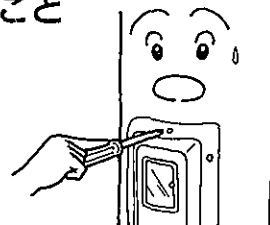
⚠️ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないこと

発火したり異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

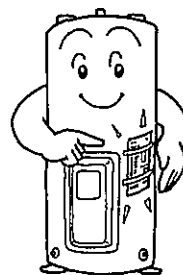


⚠️ 注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください



説明書添付



■ 異常時の注意

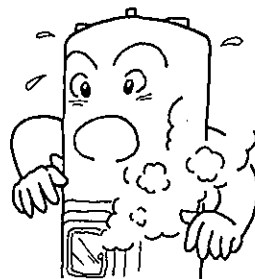
⚠️ 警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れ等)は、漏電遮断器のレバーを下げ、電源を「切」にして、お買いあげの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へ連絡すること

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。



電源を切る



使いかた

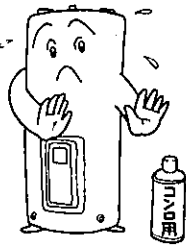
⚠ 警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。

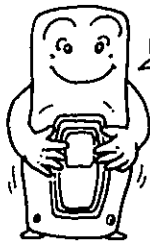


禁止



タンクが満水になっていることを確認してから通電すること

- ・満水にしないで通電すると負圧により、タンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因となります。
- ・水を入れなくて通電するとヒーターがパンクしたり故障の原因になります。



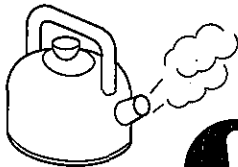
満水確認

⚠ 注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。



沸騰後飲用

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

給水のしかた

最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、給水したら一度、全部排水し再び給水してください。

1 最初の給水のしかた

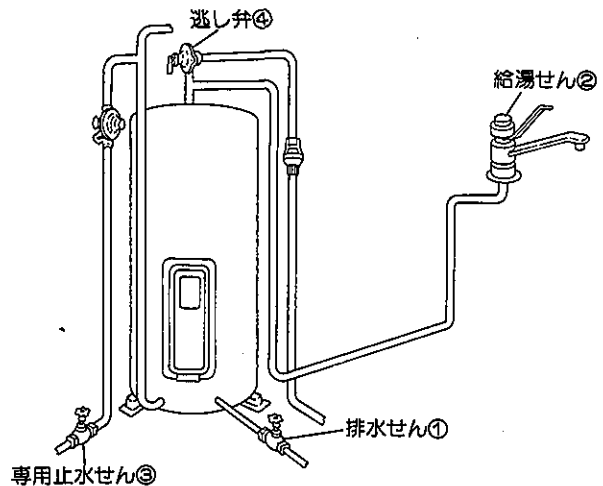
- (1) 排水せん①を閉じます。
- (2) 給湯せん②、専用止水せん③を開きます。
約20～30分で給湯せん②から水が出てきます。
これでタンクは満水になります。

2 排水のしかた

- (1) 専用止水せん③を閉じます。
- (2) 逃し弁④のレバーを上げます。レバーを上げないと、タンク内の水が抜け難くなります。
- (3) 排水せん①を開きます。
約30～40分で水が抜けます。

3 再給水のしかた

- (1) 逃し弁④のレバーを下げます。
- (2) 排水せん①を閉じます。
- (3) 専用止水せん③を開きます。
- (4) 給湯せん②から水が出てきたら給湯せん②を閉じます。



通電のしかた

⚠ 注意

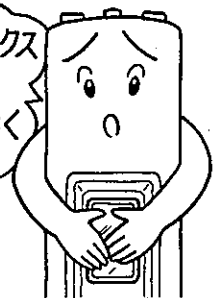
電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作のあとには必ずねじを締めてください。

電源ボックス
カバー
閉じておく



確実に閉じる



各部のなまえとはたらき

使いかた

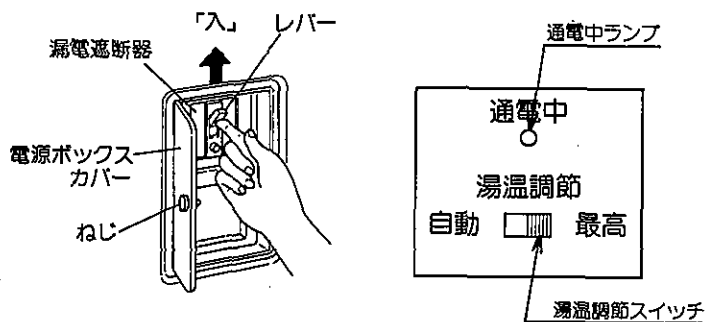
使いかた (つづき)

通電は、必ずタンクを満水にしてから行ってください。

- (1) 本体正面の電源ボックスカバーのねじをゆるめ、カバーをあけます。
- (2) 漏電遮断器のレバーを「入 (ON)」にしてください。
- (3) 電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。
- (4) 夜間の通電時間帯になると自動的に沸き上げを開始します。ヒーターに通電すると、通電中ランプが点灯します。
通電中ランプが点滅 (5秒点灯・1秒消灯) しているときは、マイコンによりヒーターへの通電準備中を示します。故障ではありません。

* 通電時間帯は、午後11時から午前7時までです。
(地域により一部異なります)

* 通電すると、逃し管から一晩で370リットルタイプ
のとき約11リットル、460リットルタイプの場合は
14リットルの膨張水がでますが異常ではありません。



操作板

湯温調節のしかた

●湯温調節スイッチを切り替えて、沸き上げる湯温を2段階に選べます。

ご家庭の使用量によって切り替えてください。工場出荷時は「最高」にセットしてあります。

湯温のめやす

「自動」…約65～90℃ (給水温を検知し、夏期は低く冬期は高く沸き上げます)

「最高」…約90℃

* 給水温が15℃ (560リットルタイプの場合は20℃) 未満、のときは、90℃まで沸き上がりません。

* タンクの中にお湯が残っている (残湯がある) 場合は、残湯量によりますが、水温が低いときでも90℃に沸き上げます。

* 沸き上げ中に停電があったときは、設定より低い温度に沸き上がります。

●スイッチの切り替え

電源ボックスカバー内の湯温調節スイッチを「自動」または「最高」側に切り替えてください。

* スwitchの切り替えはいつでも行えますが、夜間の通電時間帯に「自動」から「最高」に切り替えたときは、約90℃まで沸き上がらないことがあります。

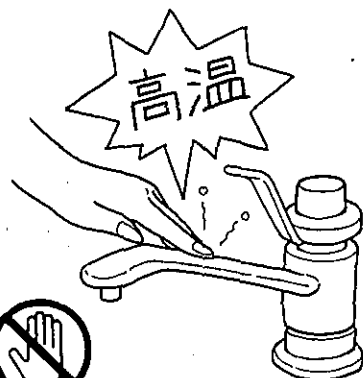
* 試運転のときは、必ず「最高」の位置で行ってください。

使用上の注意

警告

給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと

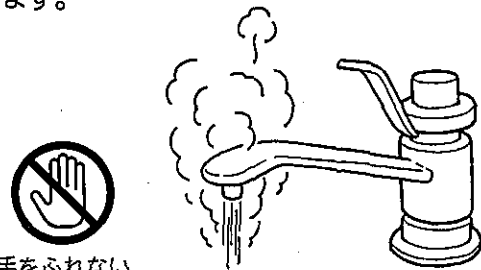
やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。



手をふれない

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。



手をふれない

お湯の上手な使いかた

一日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

●お湯は容器に受けて使ってください。

流し洗いは、お湯不足の原因になります。



●お風呂に給湯するときは

お湯をあふれさせないようにしてください。



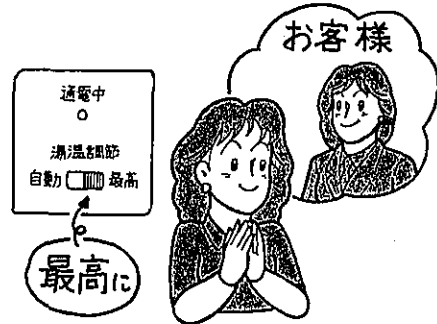
●お風呂の差し湯は

お湯の量が多いときは、あふれないように、お湯を少し減らしてから足します。



●来客があるときは

前日に湯温調節スイッチを「最高」に切り替えておきます。（「自動」のとき）



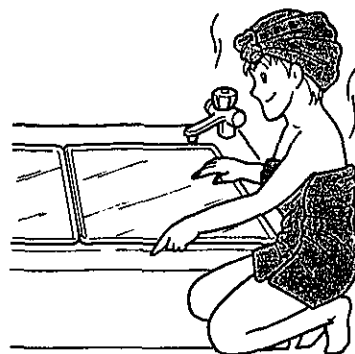
●入浴時間は

夜間の通電時間前にすませるようにしてください。通電時間中にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。



●お風呂のふたは

浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。



点検、お手入れのしかた

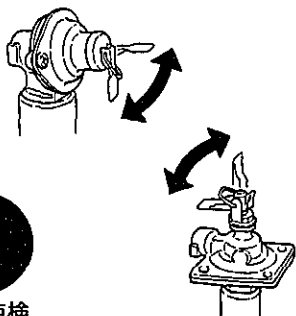
事故を防止するために下記の点検を必ず行ってください

⚠ 注意

逃し弁を点検すること

配管漏れによりやけどをすることがあります。
高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。

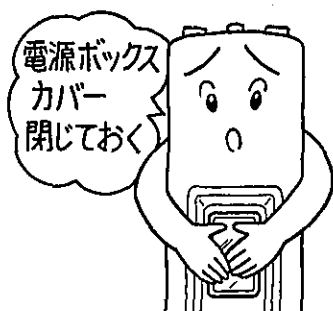
給湯側の配管・機器は
熱くなっています
のでやけどに注意し
てください。



動作点検

電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手で
さわらないでください。
点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

点 検

1 漏電遮断器の動作確認を

⚠ 警告

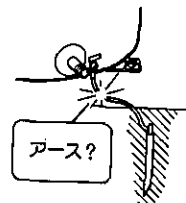
漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき
感電の原因になります。

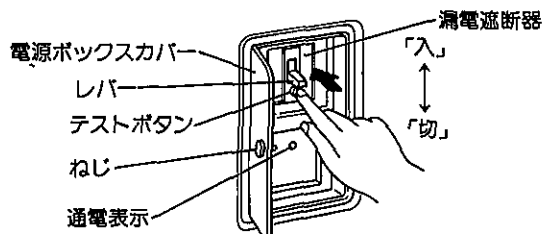
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電
気を切るための安全装置です。

- 年に2～3回は、漏電遮断器の動作確認を夜間の通電
時間内に、つぎのように確認してください。

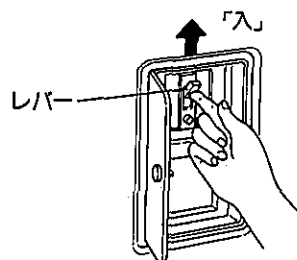
- (1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してく
ださい。



- (2)正面の電源ボックスカバーをあけて、テストボタン
を押してください。
漏電遮断器のレバーが「切(OFF)」になり、通電
表示が消えれば正常です。



- (3)テストのあとは、必ずレバーを「入(ON)」にもど
し、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじ止めし
てください。
(560Lについては、必ずレバー2つとも「入(ON)」
にして使用してください)



2 逃し弁の動作確認を

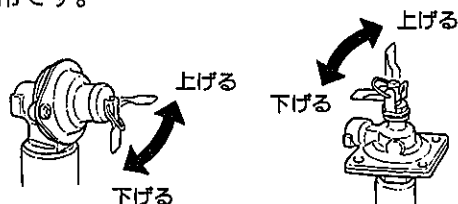
⚠ 警告

逃し弁点検時は逃し弁、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

年に2～3回は、必ず逃し弁のレバーを2～3回上げ下げして動作確認をしてください。

- レバーを上げたとき排水し、下げたとき排水が止まれば正常です。



- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。

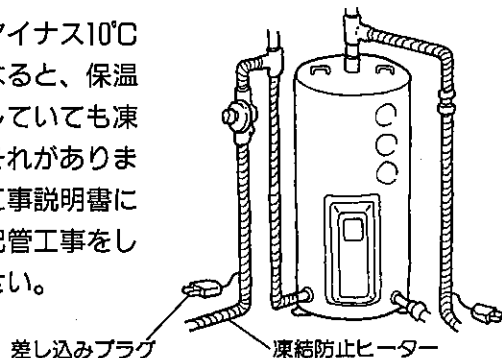
3 寒冷地では凍結防止を

⚠ 注意

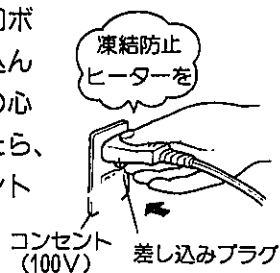
凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書に従い、配管工事をしてください。



- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



4 水漏れの点検を

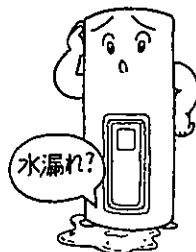
⚠ 注意

水漏れを点検のこと

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。

日常確認してください。

- 電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認してください。



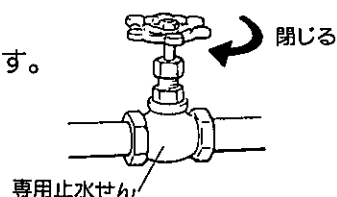
- 減圧弁・逃し弁は消耗部品です。定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にお尋ねください。

お手入れのしかた

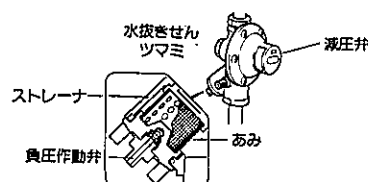
1 減圧弁のストレーナー掃除

- 湯および水の出が悪くなったとき、または6か月に1回はつぎの手順でストレーナーの掃除をしてください。

(1) 専用止水せんを閉じます。

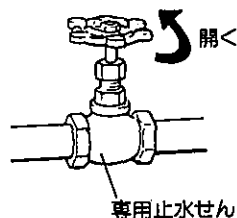


- (2) ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除します。



点検、お手入れのしかた (つづき)

- (3)もとどおりに組み込み、専用止水せんを開きます。



2 お使いにならないとき

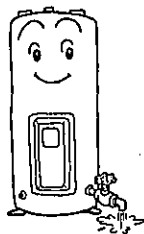
- 長期間お使いにならないとき

⚠注意

1 か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。

- 排水のしかたは6ページの排水のしかたをご覧ください。
- 再びご使用になるときは、6ページの再給水のしかたにより、タンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
- 翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気がでますので、やけどに注意してください。



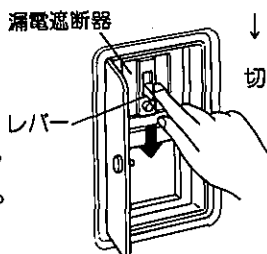
3 タンク内の掃除を

⚠注意

タンクの熱湯排水は直接しないこと

やけどをすることがあります。
水で薄めてから流してください。

使用しているうちに水アカや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回はつぎの手順で排水口から水アカを出してください。
タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を浴槽などにため、使いきった後、水になってから排水してください。



- (1)漏電遮断器のレバーを「切」にします。
- (2)専用止水せんを閉じます。
- (3)逃し弁のレバーを上げます。

- (4)排水せんを開きます。

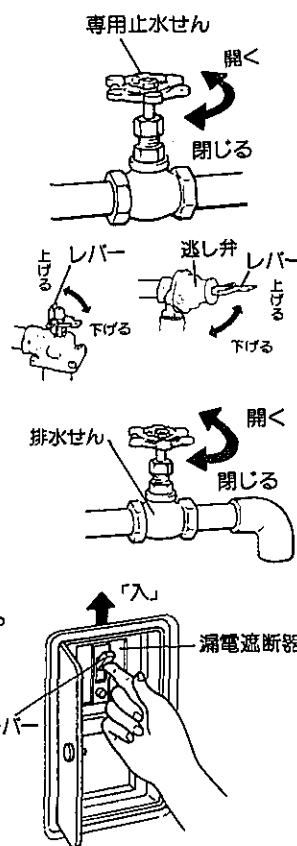
- (5)よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じます。(排水が見えないときは2分間くらいを目安に排水してください)

- ※お湯がでてくることありますので、やけどに注意してください。

- (6)排水が終了したら専用止水せんを開きます。

- (7)逃し管から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます。

- (8)漏電遮断器のレバーを「入(ON)」にします。

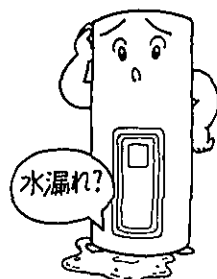


4 断水、近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。
濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 解除されたら専用止水せんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから電気温水器を使用してください。

5 過圧防止弁について

- 過圧防止弁排水口より水(または湯)が漏れている場合は、配管システムまたは電気温水器に異常があります。漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。お買いあげの販売店に連絡をして修理を受けてください。



定期点検のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換(有料)をいたします。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

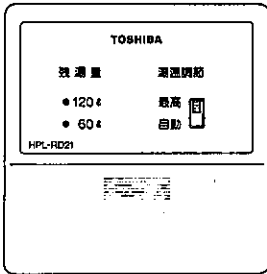
リモコンについて

リモコン

ステンレスホット「セレクトシリーズ」では、本体操作によるリモコンレスでの使用の他、次の別売リモコンを組み合わせ使用することもできます。

- 《●リモコン使用のとき、別売りのリモコンケーブル(機種により異なります)が必要です。》
 《●リモコンは複数組み合わせ使用できません。》

カンタン操作なシンプルリモコン

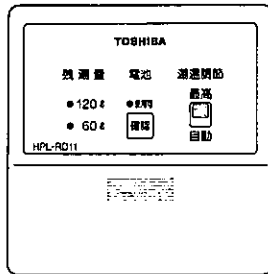


シンプルリモコン
Aタイプ
HPL-RD21

[100V電源式
(本体側に引き込み)]

- ・湯温調節機能
(最高・自動)
- ・残湯表示機能
(3段階)

幅120×奥行19×高さ120mm



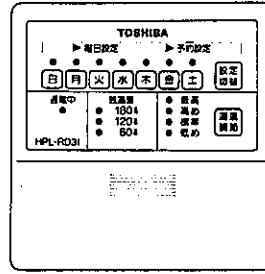
シンプルリモコン
Bタイプ
HPL-RD11

乾電池式

- ・湯温調節機能
(最高・自動)
- ・残湯表示機能
(3段階)

幅120×奥行19×高さ120mm

プログラム操作のデラックスリモコン

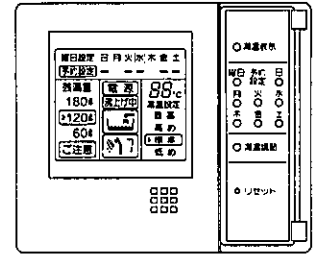


デラックスリモコン
Aタイプ
HPL-RD31

[100V電源式
(本体側に引き込み)]

- ・湯温調節機能
(最高・高め・標準・低め)
- ・残湯表示機能
(4段階)
- ・週間沸き上げ日予約

幅120×奥行19×高さ120mm



デラックスリモコン
Bタイプ
HPL-RD41

[100Vおよび、乾電池不要
(深夜電力だけで駆動)]

- ・湯温調節機能
(最高・高め・標準・低め)
- ・残湯表示機能
(4段階)
- ・週間沸き上げ日予約
- ・湯温表示
- ・お湯の使用可能めやす表示

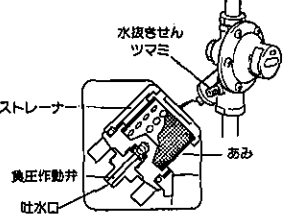
幅140×奥行19×高さ120mm

点検、お手入れのしかた

リモコンについて

このようなときには

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	直 し か た
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ●専用止水せんは開いていますか。 ●断水ではありませんか。 ●減圧弁のストレーナー部がつまっていますか。 ●配管部分が凍結していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●閉じていたら、開いてください。 ●水道局へ問い合わせてください。 (断水が終わるまで待ってください) ●10ページによりお手入れをしてください。 ●お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●配線用遮断器が「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器のレバーが「切(OFF)」になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「切(OFF)」になっているときは、「入(ON)」にしてください。 ※2度、3度と「切(OFF)」になる場合は故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●湯温調節の位置は適当ですか。	●上のランクへ切替えてください。 (例えば 自動 → 最高)
	●深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。	●翌日までお待ちください。 ※湯温調節 最高 のとき、残湯量がなく、水温が15℃未満(560Lは20℃未満)のときは90℃まで沸き上がりません。
	●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	●タンクへの給水温度が15℃未満ではありませんか。	
	●逃し弁の逃し管から昼間お湯が流れていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ●10ページの「逃し弁の動作確認を」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
よごれたお湯が出る。	●近くで断水や水道工事はありましたか。	●水がきれいになったのを確認してから電気温水器をお使いください。 11ページの「断水・近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●11ページの「タンク内の掃除を」によりタンク内の掃除をしてください。
減圧弁から水が漏れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●負圧作動弁から漏れるときは、吐水口をマッチ棒などで数回つついても止まりませんか。 ●水抜きせんから漏れるときは、ツマミを右にねじ込んで止まりませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水漏れが止まらないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。 〔少量の水漏れの場合は、ビニールホース(内径6mm)で排水口へ導いてください。〕

仕 様

形 名		HPL-TL375RM	HPL-TL465RM	HPL-TL469RM	HPL-TL569RM
		HPL-TL375RM-B	HPL-TL465RM-B	HPL-TL469RM-B	HPL-TL569RM-B
項 目		屋内・防雨兼用形			
		マイコン節電タイプ		マイコン節電タイプ(ローワイド形)	
適用料金制度		深夜電力(通電制御)			
タンク容量		370L	460L		560L
定 格		単相200V 4.4kW	単相200V 5.4kW		単相200V 6.0kW
沸上がり湯温		自動: 約65℃～90℃ 最高: 90℃			
質 量(満水時)		約47(417)kg	約55(515)kg	約54(514)kg	約63(623)kg
外形寸法 (mm)	幅	670		740	
	奥行	740		800	
	高さ	1665	2005	1660	1960
安 全 装 置		自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁			
配 管 口 径		給水・排水・給湯R3/4			
用 途		セントラル給湯 3～5人家族	セントラル給湯 4～6人家族		セントラル給湯 5～7人家族

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この東芝電気温水器には、「保証書」を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝電気温水器の保証期間は、お買いあげいただいた日から2年です。(ただし、タンク内部のヒーターは3年、タンクは5年です。)
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 弊社は、電気温水器の補修用性能部品の製造打ち切り後、10年保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店、東芝家電ご相談センターまたは東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
- ご転居あるいは贈答品などで保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切 (OFF)」にし、専用止水せんを閉じてからお買いあげの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

- 修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	電気温水器	
形 名	H P L - □□□□□□□□	
お買いあげ日	年 月 日	
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください	
お 名 前	電話番号	訪問希望日
便 利 メ モ	お買いあげ店名	
	電 話 番 号	
お買いあげ店名を記入されておくと便利です		

修理料金のしくみ

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。



愛情点検

長年ご使用の電気温水器の点検をぜひ！

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなる。
- 逃し弁の逃し管から屋間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電遮断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理 (有料) をご相談ください。

東芝機器株式会社

電化給湯システム営業部
〒110-0015 東京都台東区東上野5-24-8
(住友不動産上野ビル6号館11F)
TEL (03)5806-9043

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	

お客様へ…… おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

IC (M) 機 ☆THTO (H)